

Course number		U-LAS26 10002 SO48					
Course title (and course title in English)	スペイン語 I A (演習) S1201,S1202,S1203,S1204,S1205,S1206,S1207,S1208,S1209,S1210,S1211,S1212 Spoken Spanish A			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Liberal Arts and Sciences Professor,TSUKAHARA NOBUYUKI		
					Part-time Lecturer,BAINOTTI, Alberto Emilio		
					Part-time Lecturer,Aguilar, Milton		
					Part-time Lecturer,REINA OLMEDO, Jose Francisco		
					Part-time Lecturer,RIOS SALOMA Monica		
					Part-time Lecturer,Perez de Camino Fernandez Jose Antonio		
Part-time Lecturer,HEVIA PENNA PABLO ANTONIO							
Group	Languages			Field(Classification)			
Language of instruction	Spanish			Old group	Group C		Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters	2025・First semester	
Days and periods	Mon.2/Mon.3/Wed.3/Wed.4/Thu.1/Thu.4/Fri.2/Fri.3/Fri.5		Target year	All students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
共通・教養科目としてのスペイン語コースの目的は、スペイン語学習を通じて、現代世界の中での自分の位置を確認することです。 「教養」とは、世界における自分の位置を知るための地図です。学習を通じて各自が作り上げていく「教養」地図の一部を、スペイン語学習を通じて構成していきます。また、地図だけがあっても、現在地がわかっていなければ、人生の道のりを考えることができません。現在地をつかむため、スペイン語圏の社会や文化を参照しつつ、自分という存在を社会的に認識するという作業も行います。スペイン語圏は地理的に広範囲にまたがると同時に、内部に大きな文化的・言語的・社会的・歴史的多様性を抱えています。したがって、自分という存在を相対化するために適切な「なにか」が見つかる可能性も比較的高いと言えるでしょう。そうした特徴を活用しつつ、「教養」地図に自分の現在地を書き込み、自分の将来についても考えてみましょう。							
[Course objectives]							
①スペイン語圏の文化や社会に関する知識を獲得する ②スペイン語圏の文化や社会に関して思慮する ③文化の伝達媒体であると同時に文化それ自体でもあるスペイン語を学習する ④ローカルな存在としての自己とグローバル世界を結びつけて考えられるようになる							
[Course schedule and contents)]							
以下のテーマと進行予定に従い、各回でスペイン語による練習（聞く・話す）を行います。日程を含めたより具体的な進行予定は学習ポータルサイト上で提供され、休講や補講等による変更が随時反映されます。適宜参照し、学習計画を立ててください。 （授業回.【テーマ】学ぶ表現） 01.【書記システム(1)】教室で役に立つ質問表現 02.【書記システム(2)】自己紹介のための表現							
Continue to スペイン語 I A (演習) S1201,S1202,S1203,S1204,S1205,S1206,S1207,S1208,S1209,S1210,S1211,S1212(2) ↓ ↓							

03. 復習1
04. 【スペイン語圏の地理】 方角や場所を示す表現
05. 【スペイン語の多様性】 出身を示す表現
06. 復習2
07. 【食事・美食】 数量に関わる表現
08. 【音楽】 時刻に関する表現
09. 復習3
10. 【先住民】 色彩に関する表現
11. 【人口】 日常行動に関する表現
12. 【家族】 生活に関する表現
13. 【家庭でのしつけ】 生活に関する表現
14. 復習4
 期末試験1+フィードバック
 期末試験2+フィードバック

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

授業期間中課題：60%（ビデオ作成課題40%・聴解課題20%）
期末試験：40%

[Textbooks]

ウェブサイトとして構築されたオリジナル教科書を用います。

<https://esp-kyoto-u.com/>

生協オンラインショップ（<https://ec.univ.coop/shop/c/cM2/>）で利用権を購入した後、サイトで新規登録を行ってください。期末試験もサイト上で実施します。

（Related URL）

<https://esp-kyoto-u.com/>（学習ポータルサイト：必ずチェックしてください）

<https://ec.univ.coop/shop/c/cM2/>（生協オンラインショップ：利用権購入はこちら）

[Study outside of class (preparation and review)]

学習ポータルサイトで提供されている練習問題に各自取り組んでください。

[Other information (office hours, etc.)]

・授業では教員は原則としてスペイン語しか話しませんが、アクティビティなどに関する必要な指示は教科書サイトに日本語・スペイン語で記載されています。教員が話すスペイン語をすべて理解できないのは当たり前ですので、心配する必要はありません。「わからない」感覚を楽しんでください。

・授業時は、ノートパソコンを持参してください。

・わからないことがあれば、まずサイトのQ&A（<https://esp-kyoto-u.com/pyr/>）を参照してください。

・その他質問はスペイン語相談室、あるいはスペイン語サイトの連絡フォーム（<https://esp-kyoto-u.com/contacto/>）で受け付けます。フォームのパスワードは「7974」です。それ以外の経路での連絡はこちらに届きません。スペイン語相談室の開室スケジュールはスペイン語サイトで公開されます。